

2023年3月30日

各位

東京都豊島区南大塚 3-33-1

山洋電気株式会社

執行役員 経営企画部部長 岩山 昌樹

TEL (03) 5927 1020

カーボンニュートラル実現に向けた CO₂ 排出量削減の中長期目標を策定

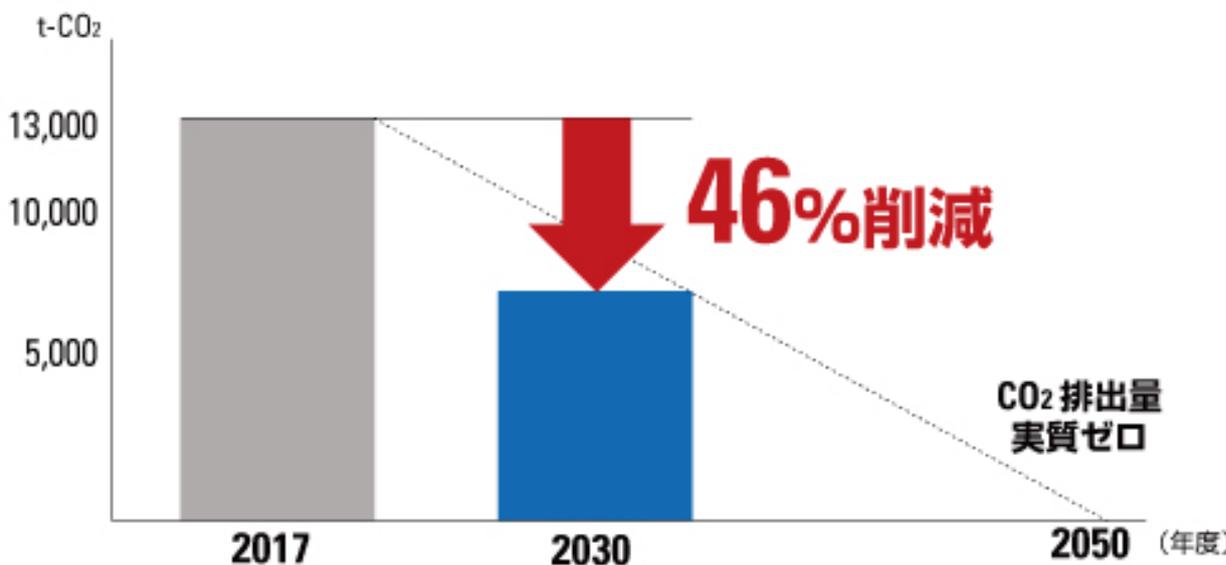
山洋電気株式会社(本社:東京都豊島区、代表取締役会長 山本茂生)は、気候変動に対する取り組みの一環として、当社グループの CO₂ 排出量を 2030 年度に 46%削減(2017 年度比)、2050 年度までに実質ゼロとする中長期目標を策定しました。

CO₂ 排出量削減目標*(基準年度:2017 年度)

| | |
|-----------|--------------|
| 2030 年度目標 | 46%削減 |
| 2050 年度目標 | カーボンニュートラル達成 |

*山洋電気株式会社、山洋電気テクノサービス株式会社、山洋電気 IT ソリューション株式会社を対象。

CO₂ 排出量である Scope1(自社による CO₂ の直接排出)、Scope2(他社から供給された電気・熱・蒸気の使用に伴う間接排出)が対象。



山洋電気グループは、「すべての人々の幸せを目指す」という企業理念のもと、「地球環境を守るための技術」「新しいエネルギーの活用と省エネルギーのための技術」「人の健康と安全を守るための技術」という3つの技術テーマをベースに、高効率かつ省エネルギーの製品を数多く開発してまいりました。

さらには製品開発で培ってきた技術を活かし、当社グループの研究開発拠点と主要工場においても、エネルギーの使用効率を向上させるための取り組みを推進しています。例えば、自社製品である太陽光発電用パワーコンディショナ「SANUPS」Pシリーズを使用した太陽光発電設備を積極的に導入し、電力の自家消費をおこなっています。また、IoTを活用して生産設備の稼働状況を見える化することで、効率的に設備を稼働し、省エネ効果を高めるなど、当社の製品と技術ノウハウを活かした複数の取り組みを組み合わせることで環境保全に努めてまいりました。

このような環境のもと、カーボンニュートラルの実現に向けた取り組みを一層加速するため、2023年4月から、長野県上田市にある研究開発拠点のテクノロジーセンターにおいて使用される電力を、水力発電由来の「信州 Green でんき」に切り替えることといたしました。これによりテクノロジーセンターの電力は、実質的に再生可能エネルギー100%に切り替わり、電力使用によるCO₂排出量はゼロとなります。また、国内の工場の電力もこの電力に順次切り替えていく予定です。従来の取り組みに加え、これらの水力発電由来の電力への切り替えをおこなっていくことで、CO₂排出量削減の中長期目標である「2030年 46%削減、2050年 カーボンニュートラル達成」を実現してまいります。

今後も当社グループでは事業成長と環境保全を両立した企業活動で、持続可能な循環型社会の実現に貢献してまいります。

当社グループの環境保全の取り組みの詳細は、以下のページをご覧ください。

https://www.sanyodenki.co.jp/corporate/environmental_social/environmental/index.html

お問い合わせ 〒170-8451 東京都豊島区南大塚 3-33-1

山洋電気株式会社

経営企画部秘書課

井山 絵理子

ir_info@sanyodenki.com

TEL (090) 1081 7044 FAX (03) 5952 1601